

ひよこ病児保育室より



あけましておめでとうございます。

新しい年の始まり、思いがけずたくさん降ってきた雪を、病児保育室の窓越しに子ども達と一緒に見ました。子ども達の目が、不思議そうにクルクル、そしてキラキラする様子に、寒い外とは対照的に保育士たちの心はポカポカになりました。



今年も限られた時間の中で、病状に見合った休息をしながら、心と身体の成長のお手伝いをしてまいりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

感染性胃腸炎について

嘔吐や下痢といったおなかの症状が出る胃腸炎（感染性胃腸炎）は、感染する力が強いので、ご家族や周囲の方たちに感染を広げないように気を付けたいですね。今回は、主にご家庭での対応を紹介します。

どうやって、うつるの？

- ・ウイルスが含まれた水・食物を摂取して感染（経口感染）
- ・ウイルスの付着した手などを介して感染（接触感染）
- ・処理をしていない嘔吐物等が乾燥して空気中に舞い上がり感染（飛沫感染）



嘔吐・下痢のお子さんのケアで気を付けていただきたいこと

- ・汚物を処理するときは使い捨ての手袋、マスクを着用しましょう。
- ・石けんを用いて流水手洗いをしっかり行いましょう。
（アルコール消毒のみでは不十分です）
- ・脱水に気を付けましょう。何度も嘔吐・下痢を起こしているときは、OS-1 やお子様向けのイオン水などがおすすめです。
- ・消化の良い食事を心がけましょう。乳製品や揚げ物、塩分の多いもの、柑橘系の食べ物や飲み物は控えましょう。



具体的には、やわらかめに煮たうどん・おかゆ・ゼリーなどがおすすめです。ご家庭でのお食事、病児保育室にお持ちになる昼食やおやつの参考にしてみてください。

- ・汚物の付着した衣類などは塩素系漂白剤で消毒（色落ちすることがあります）してから洗濯か、85℃以上の熱湯による消毒後、洗濯してください。家族の洗濯とは別が理想です。

※感染予防の観点から汚染した衣類は、保育室では洗わずに、ビニール袋にいれてそのままお持ち帰りいただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。